



宮司ぷしす第六十一号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十三年 六月二十一日

◇ 宮司の柴田です。 私のパソコンのある机

の窓からは、御神殿の北西の方に、濃い紫色の花を咲かせた紫陽花（あじさい）が見えます。

降り続いた雨の滴（しずく）に、紫の色も鮮やかです。 御神殿の東側にも、うす紅（くれない）や淡い青の紫陽花が、咲きはこっています。

実は、この紫陽花は、先代典行宮司の境内整備の事業の一つとして、御神殿の周辺に、平成十六年に植えられたものです。 一昨日の日曜日の夕刻に、六年祭を御奉仕申し上げましたが、昨日が、先代典行宮司の命日でした。 月日は、早く流れて六年が経ちましたが、先代の逝去の後を引き継いだ私の宮司の歩みは、まさに、

先代を偲（しの）ぶ歳月（さいげつ）でもありません。 就任以来、大過なくその職責を全（まっとう）うする事が出来ましたのも、沢山の方々御支援御指導あればこそでありまして、心から感謝申し上げます。 小林一茶は、

「うたたねに 叱（しか）りてのなき

寒さかな」と

いう俳句を詠（よ）んでいます。 ついつい、

うたたねをしてみましたのですが、肌寒さを感じ

じて目が覚めたわけですね、「そんなところ

で寝ていたら風邪引くよ」と声をかけ、それでも起きなかつたら、そつと毛布をかけてくれる家族や伴侶（はんりよ）である妻のいない寂しさを詠（うた）っているのです。 「愛する」

の反対語は、「憎しみ」ではなく、実は、「無関心」なのです。 ですから、皆様方の御意見や励ましの言葉、お叱り、お諫（いさ）めには、心を開き、素直に耳を傾けてですね、しっかりと受け止めながら、「叱りてのなき寒さ」にならぬよう、健全なる神社運営につとめなければと、決意を新たにしているところです。

◇さて、宮司就任一年目を期して発行を始めた「宮司プレス」も丸五年、とうとう六十号を突破し、六十一号、六年目を迎えます。 これまで続けてこられたのも、「読んだよ」とか「いい内容だったよ」、「ちよつと難しかった」等の励ましがあればこそでありまして、心から感謝申し上げます。 内容は、身近な話題を記載するように心掛けていますし、発行も、常に毎月一日の発行を目指すのですが、朝粥会当日（二十

一日）まで遅れてしまう、「エキスポレス（特

急電車）」でなく、まさしく「ローカルプレス（鈍行電車）」であります。 これからも、百号を目指して頑張りますので、宜しくお願いします。

◇三月十一日の東日本大震災は、四重の複合災害だと言われます。 地震・津波・原発事故、そして風評被害です。 すでに三か月が経過しましたが、原発事故と風評被害は、いまだに制御（せいぎよ）されています。 特に原発事故は、「シビア アクシデント（過酷事故）」でかなり深刻であります。 感性に流されれば、「脱原発、反原発」ですが、このまま「脱原発」

が進むと、平成のエネルギー危機を迎えるわけで、風力や地熱さらには太陽光といった自然エネルギーに移行する、期間限定での過渡期（かとき）として、理性で判断すれば「原発再開」という事になりますよね。 科学は、「何が出るか、なぜ起こるか、どうなっているかを明らかにする」のであり、「何をやるか」というのが政治であります。 起こした事で非難されるのではなく、起こした事にどう対応したかによって非難されるのが危機管理でもあります。

従って、科学と政治が混同されずに、的確な判断を願いたいものです。

◇我々の文明は、科学が全てを解決するという「科学万能思想（かがくばんのうしそウ）」を信じて、経済成長を実現しました。 しかし、

今回のような、「想定外」の出来事に、完全に耐えられるものを建設することは不可能ですし、また、百年に一度の洪水（こうずい）に耐えられる堤防は、千年に一度の大津波には無力なですね。 関東大震災で被災した作家の山本有三さんは、「我々は、どんなに逃げたところで、やはり、大地の手のひらの上にいるのではないか」と言われました。 私たちは、もともと謙虚になるべきで、古来から持っていた「自然を慈（いつく）しみ、畏（おそ）れ、生きとし生けるものと謙虚に向き合う」という自然観（しぜんかん）を取り戻さなければと思いますね。

◇大災害のなかでも被災者の、常に冷静沈着（れいせいちんちゃく）に行動し、弱者（じやくしやく）を優先し、助け合い秩序を重んじ、恥を知り公共のマナーを守った姿が、世界の人々より賞賛されました。 徒然草（つれづれぐさ）には、葉の落ちるメカニズムが書かれています。 「古くなるから落ちるのではなく、新しい芽の勢いによつて新しい葉にとつてかわる」と述べられています。 私は、その被災された方の姿や雄々しさ（おおしき、勇氣の事です）が、新しい葉にかわる、その復興にむけての新しい芽の勢いにとつてかわると思ひ、日々の生活を送りたいと思います。 それこそが、「信心」であります。 御自愛をお祈りします。

◇五月、六月の祭典行事報告

- ▼月次祭 *五月一日、十五日
- ▼福浦金刀比羅宮例祭
 - *五月十四日〜十五日 *左上の写真
 - *五月二十一日 *左中の写真
- ▼河野水軍末裔、風早会参拜
 - *五月二十四日 *左下の写真



◇六月の宮司の行事会議等予定（報告も含む）

- ▼山口県神社庁並びに下関支部関係
 - ◇支部皇居勤勞奉仕打合 *六月二日、十七日
 - ◇調査研究委員会、常任委員会 *六月六日
 - ◇支部敬婦役員会、三役会 *六月七日
 - ◇支部幹事会 *六月十一日
- ◇山口県神職夫人の会結成二十五周年記念式典
 - *六月十三日
- ◇神職養成講習会打合、協議委員会 *六月十七日
- ◇神宮式年遷宮山口県本部理事会 *六月十八日
- ◇支部皇居勤勞奉仕出発見送り *六月二十日
- ◇山口県神社庁岩国支部総代会 *六月二十四日
- ◇巡回社頭講話研修会 *六月二十八日
- ◇山口県敬神婦人連合会総会
 - *六月二十九日

▼月次祭 *六月一日、十五日

▼維蘇志会草刈奉仕 *六月六日

▼海士郷恵比須神社例祭 *六月十日



※夏越祭海上渡御の御座船選出の神占神事

（流王丸と妙祐丸に決定）

◇六月の祭典行事予定

- ▼朝粥会 *六月二十一日 午前六時半
- ▼大祓式 *六月三十日

▼西ロータリークラブ

◇例会 *六月一日、八日、二十一日

◇メーキャップ *六月二十七日、三十日

▼自治会関係、その他

◇なかべ学院後援会理事会 *六月二十五日

▼講演活動

◇宮司講和会*六月一日※午後六時、どなたでも

参加できます！ ※次回は、七月一日！

◇山口県労働基準協会下関支部特別講演*六月二十二日

▼当宮関係団体 ◇奉賛会総会 *六月四日

▼倫理法人会 モーニングセミナー

*六月八日、二十二日、二十九日